

6月27日梅雨前線豪雨による被害状況と湯沢砂防事務所の対応 (第4報)

～ 芋川流域の河道閉塞箇所の仮排水路付近の土砂流失への緊急対策について～

1. 被害状況

6月27日からの梅雨前線豪雨により、芋川流域の寺野地区では連続雨量325mm(6/27～29)の降雨を記録しました。この降雨により、仮排水路の吐口の下流の右岸側斜面で土砂流失が発生しました。この土砂流出は仮排水路機能に対して直接影響を与えるものではありませんが、放置しておくとおそれがあるため、速やかに緊急対策を実施しました。

2. 緊急対策

今後の出水による仮排水路吐口からの流水の侵食によって、土砂流失箇所が拡大することを防ぐため、ヘリコプターによって流出箇所にコンクリートブロックを7/2～4の3日間で合計230個設置しました。

3. 今後の対応

モニターカメラ、雨量計、水位計等の観測計器等による監視を継続しながら、砂防堰堤等を主要工種とした対策を推進します。

【問い合わせ先】

北陸地方整備局湯沢砂防事務所

副所長(技術) 本白 茂 025-784-2263(代)

湯沢砂防事務所ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/index.html>



ブロック設置



ヘリコプターによるコンクリートブロック設置状況 (平成17年7日4日)



今回設置範囲

コンクリートブロック設置完了状況 (平成17年7日4日)